

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年11月10日 (2016.11.10)

【公開番号】特開2016-30094(P2016-30094A)

【公開日】平成28年3月7日 (2016.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2016-014

【出願番号】特願2014-154210(P2014-154210)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/00 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月27日 (2016.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検部位を接触部に接触させて生体情報を測定する測定装置であって、
測定光を射出する光源と、
前記被検部位からの前記測定光の散乱光を受光する受光部と、
前記受光部の出力に基づいて前記生体情報を生成する生体情報生成部と、
制御部とを備え、
前記制御部は、所定の時間帯に前記光源から前記測定光を射出可能とする測定装置。

【請求項 2】

前記接触部における前記被検部位の接触状態を検出する接触状態検出部をさらに備え、
前記制御部は、前記接触状態検出部で検出される前記接触状態が所定の接触状態にある
と判断した場合に、前記光源から前記測定光を射出させる、請求項 1 に記載の測定装置。

【請求項 3】

被検者による当該測定装置の使用時間帯を記憶する記憶部をさらに備え、
前記制御部は、前記記憶部に記憶された使用履歴情報に基づいて前記所定の時間帯を決
定する、請求項 1 に記載の測定装置。

【請求項 4】

前記記憶部は、前記生体情報生成部が過去に生成した前記生体情報を記憶し、
前記制御部は、さらに、前記生体情報生成部が過去に生成した前記生体情報に基づいて
前記所定の時間帯を決定する、請求項 3 に記載の測定装置。

【請求項 5】

前記制御部は、被検者による当該測定装置への入力に基づいて前記所定の時間帯を決
定する、請求項 1 に記載の測定装置。

【請求項 6】

報知部をさらに備え、
前記制御部は、前記光源から前記測定光を射出させる前又は射出させている間に、前記
報知部から前記測定光の射出に関する情報を報知させる、請求項 1 に記載の測定装置。

【請求項 7】

前記生体情報は、血流に関する情報を含む、請求項 1 に記載の測定装置。

【請求項 8】

被検部位を接触部に接触させて生体情報を測定するにあたり、
現在の時刻が所定の時間帯に含まれるか否かを判断するステップと、
前記現在の時刻が前記所定の時間帯に含まれる場合に、前記接触部に接触する前記被検部位に測定光を射出するステップと、
前記被検部位からの前記測定光の散乱光を受光するステップと、
前記散乱光に基づいて前記生体情報を生成するステップと
を含む測定方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】